言語活動に関する学校の全体像（案）

（　　）　中学校

時代や社会の要請

・憲法，教育基本法，
・学校教育法，中教審答申
・学習指導要領
・仙台市標準学力検査
・全国学力・学習状況調査
・仙台市の教育施策

学 校 の 教 育 目 標

○　心身ともにたくましい人間の育成。
○　物事を深く考え，判断する人間の育成。
○　思いやりがある人間の育成。　　仮

生徒の実態

・明るく素直
・自主性がやや弱く，指示を待つ傾向がある。　　仮

保護者や地域等の願い

・思いやりのある子
・自分の考えをもつ子　　仮

言語活動を通して目指す生徒像

＊経験や知識を生かして，根拠を精選し，自分なりの考えや意見をもつ生徒。
＊目的や意図に応じて自分なりの考えや意見を論理的に表現する生徒。
＊伝え合いを通して，自他の考えの違いやよさを認め合い，自分の考えを深める生徒。　　仮

各教科等における言語活動

	各教科等における言語活動
道徳	・自分の考えを基に，書いたり討論したりするなどの表現する機会を充実し，自分とは異なる考えに接する中で，自分の考えを深め，自らの成長を実感できるよう工夫する**こと。**
総合的な学習	・問題の解決や探究活動の過程においては，他者と協同したりして問題を解決しようとする学習活動や言語により分析し，まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。
特別活動	・学校行事については，実施にあたっては，幼児，高齢者，障害のある人々などとの触れ合い，自然体験や社会体験などの体験活動を充実するとともに，体験活動を通して気付いたことなどを振り返り，まとめたり，発表し合ったりするなどの活動を充実するよう工夫する**こと。**

各学年の学年経営（指導の重点）

1年	
2年	
3年	

国語科における言語力育成

＜感受・表現＞
・音読・暗唱などの技能
・感性・情緒と関連した表現・修辞を理解する技能
・喜怒哀楽などの感情を言葉とともに身体などを使って表現する技能
・文学作品をとおした伝統や文化的背景に関する知識

＜理解・知識＞
・事実と意見を区別して説明する技能
・漢字，語彙，文法などを適切に使う技能
・記録・描写など事実を正確に伝える技能
・レジュメ，物語のあらずじなど，情報を要約して伝える技能

＜解釈・説明＞
・抽象的な用語の意味を理解して説明する技能
・視点を変えたり他の事象と関連付けたりして，多面的・多角的に物事を見て，的確に分析する技能
・文章の中の情報に基づき，根拠を持って，筆者の意図を分析し，解釈して説明する技能
・相手・目的・場面に応じて適切に説明する技能

＜評価・論述＞
・結論を示した上で，その判断の基礎となる考え方を根拠をもって説明する技能
・文章の形式や内容について，危篤の知識や自らの経験などに照らして評価を行った上で論述する技能
・複数の媒体やテキスト等を活用して，媒体の特性を踏まえて情報を評価する技能

＜討論・協同＞
・討論，議論などを通じて，建設的な合意形成を目指した言語活動をする技能

各教科における言語活動

	各教科における言語活動
社会	・持続可能な社会を形成するという観点から，私たちがよりよい社 会を築いていくために解決すべき課題を探求させ，自分の考えをまとめる。
数学	・「Ａ数と式」「Ｂ図形」「Ｃ関数」及び「Ｄ資料の活用」の学習やそれらを相互に関連づけた学習において数学的表現を用いて，根拠を明らかにし筋道を立てて説明し伝え合う活動。
理科	・学校や生徒の実態に応じ，十分な観察や実験の時間，課題解決のために探究する時間などを設けるようにすること。その際，問題を見出し観察，実験を計画する学習活動，観察，実験の結果を分析し解釈する学習活動，科学的な概念を使用して考えたり説明したりするなどの学習活動が充実するよう配慮すること。
音楽	・鑑賞の活動を通して，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わうこと。
美術	・美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して，造形的なよさや美しさ，作者の心情やや意図と創造的な表現の工夫，目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め，作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして，美意識を高め幅広く味わうこと。
技術・家庭	・衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動や生活における課題を解決するために言葉や図表，概念などを用いて考えたり説明したりするなどの学習活動が充実するよう配慮すること。
外国語	・与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。（話すこと） ・話の内容や書き手の意見などに対して，感想を述べたり，賛否やその理由を示したりなどすることができるよう，書かれた内容や考え方などをとらえる。（読むこと） ・自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように，文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。（書くこと）
保健体育	・集団活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成する。 ・筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う活動を通じて論理的思考力をはぐくむ。

言語環境の整備

①教師は正しい言語で話し，黒板などに正確で丁寧な文字を書くこと。
②校内の掲示板やポスター，生徒に配布する印刷物において用語や文字を適正に使用すること。,
③校内放送において，適切な言葉を使って簡潔に分かりやすく話すこと。
④適切な話し言葉や文字が用いられている教材を使用すること。
⑤教師と生徒，生徒相互の話し言葉が適切に行われるような状況をつくること。
⑥生徒が集団の中で安心して話ができるような教師と生徒，生徒相互の好ましい人間関係を築くことなどに留意する必要がある。

家庭・地域との連携

・学校と家庭・地域の相互理解を深め，交流を密にし，推進体制を整える。
授業参観，学校・学年・学級通信
ＰＴＡ通信，家庭訪問　　仮